

いのちを後回しにしない政治を今、沖縄から。

みおのクロトン便り

第3号 2015年8月27日

仲村 未央

沖縄県議会議員

幸せを呼ぶというクロトンのように 多様に 多彩に しなやかに

沖縄戦災史を刻む

なぜ、「沖縄県」だけがないのだろうか。

1977～2013年まで毎年度実施されてきた総務省の「全国戦災史実調査報告書」には、沖縄県だけ見当たらない。

「都市空襲」「学童疎開」「孤児の実情」「婦人の実情」など、いずれのテーマでも、調査されたのは沖縄県を除く46県だ。

県史、市町村史からの情報収集はもちろん、年度によっては現地に調査員を派遣したり、また戦中戦後の地方紙を片っ端から調べたりして、被害の実相をまとめている。

しかし、そこには「10.10空襲」もない。「対馬丸」もない。住民を巻き込み、筆舌に尽くしがたい惨劇を繰り広げた「地上戦」の記載そのものが、ない。

ホームページに報告書の一覧を掲載している総務省に なぜ沖縄県だけが調査されていないのか尋ねても「承知しておりません」「当時の職員がいないので…なんとも…」。厚労省も、内閣府も同じこたえだ。

ああそうですか、で済まされることではない。

調査時期はあきらかに復帰後だ。沖縄県を対象から外すどんな理由があるのか。政府の公式記録に沖縄戦被害、その実相が欠落したまま、戦後70年を迎えているというのか。

沖縄戦民間被害者の会の皆さん＝写真上、対馬丸記念館の皆さん＝写真中、ガマフヤーの具志堅さん＝写真下＝とも意見交換しながら、解明に取り組む決意の日々が続いている。



追伸



◆連合府中地域協議会のお招きで、広島県府中市で講演しました＝写真上。百田発言や辺野古新基地建設について、沖縄の現状やわたしたちの取り組みを報告。熱心に聴いて下さり、さらなる連帯を確認しました。

◆辺野古土砂搬出反対全国協議会の共同代表を務める阿部悦子さんをお迎えし、報告会を開きます。

日時：9月3日(木)18:30～

場所：那覇市職員厚生会

(おもろまち・みずプラッサ)

現在、西日本の埋立土砂採取予定地ほぼすべてで反対運動組織が立ち上がりました。瀬戸内海、五島、奄美など全国を巡る阿部さんの報告。多くのご来場をお待ちしています。

憲法、自治、米軍基地問題、こどもの貧困、労働者の権利などのテーマで講演や勉強会も行っています。ご意見、お問合せがありましたら、どうぞご連絡ください。

電話：098-989-1638(みお事務所)、098-866-2702(沖縄県議会会派室)

Eメール：go@miomio.ne.jp

住所：〒904-0011 沖縄市照屋1-7-19(なかむらみお後援会事務所)

